



Die Eiche

# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-681 ワールドナーシングホーム内

Phone: 047-467-6111 Fax: 047-467-6123

## 千葉県日独協会創立 10 周年記念祝賀会開催

平成 18 年 10 月 14 日(土) 2:30~6:00PM

於 船橋グランドホテル 71 名

千葉県日独協会創立 10 周年記念祝賀会が 10 月 14 日に 10 年前創立祝賀会を行ったと同じ船橋グランドホテルに於いて行われた。西阪事務局長の司会で先ず平尾会長が挨拶と来賓の紹介を行い、続いてドイツ大使館のシュミット一等参事官に祝辞をいただいた。大使館としては、これから 3 年間、日本各地の日独協会との連携を深め、日独交流の活発化を図ることを計画中で、中でも千葉県日独協会の協力を期待していること、本日は大使が多忙で来られないが、11 月 23 日から大使館で開催する写真展「ドイツと千葉県」では、開会式、閉会式に、千葉県日独協会会員の皆さんを招待しますとのメッセージをお伝えしたいとのことであった。次いで、堂本千葉県知事の祝辞(裏面)を総合企画部政策推進室、国際政策グループ長の濱本憲一氏が代読された。更に(財)日独協会常務理事の河村繁一氏は祝辞の後、記念品として同協会が編集した「Bruckenbauer」(日独交流の架け橋を築いた人々)を平尾会長に贈呈された。なお、木村氏の記念講演内容は下記のとおり。参会者全員で記念撮影の後、別室で会員による日本舞踊が披露され、臼井日出男名誉会員の乾杯の音頭で祝賀パーティー。ぐんまの平形会長、とちぎの橋本会長、茨城の井上会長から祝辞を頂戴した。厚く御礼申し上げます。



挨拶するシュミット一等参事官



講演する木村元駐独大使

### ドイツ統一とその後 元駐独大使 木村敬三氏

戦後第一回の外務省研修員として渡独、その後一九八六年から八八年迄東独ベルリンに、八九年から九二年迄西独ボンに大使として滞在するなど都合十三年の東西ドイツにおける生活で経験したことをお話ししてみたいと思います。

先ず、八六年に赴任したベルリンでの生活は毎日が緊張の連続でした。どこに行くにも監視され、電話は盗聴されて、大使館の現地職員は毎週秘密警察に私達の行動を報告していました。そんな中で息抜きは自由に行ける西ベルリンへ出掛けることとホーネッカー第一書記の招待で年に二回、冬は狩猟、夏も同様の大名扱いを受けることでした。一方、現地の人は貧富の差が小さく、普段食べる食料の価格は安い為、食べ過ぎの傾向が顕著でしたが、バナナやオレンジなどのぜいたく品はなく、イタリアやスペインなど海外旅行は出来なかつた為、これらをテレビで見えて知っていた多くの人々は、大いにあこがれていました。考えてみると、これらの欲望が壁崩壊の大きな力になったと思います。その他、東独時代の思い出としては、次のようなことがあります。

- ① サービス精神が低く、レストランなどでしばらく待たされて文句をいうと逆に店員に怒鳴られる有様でした。
  - ② 環境汚染がひどく、零下二十度の冬に窓を開けようものなら泥炭で暖房する為に発生する煙で、鼻も悪くなる程。
  - ③ 言論は不自由で警察国家らしく監視が厳しくて、ある時近所の人達を自宅で接待しようとして声を掛けた所、当日になって全員が「風邪を引いた」といって断つてきた。
  - ④ これは明らかに警察に止められたものと思われず。壁が出来る前、ジョークを作つて言いたい事を囁きあっていたが、その一つに「東独から太った犬が週二回西独に来て、大声で一時間吠えて帰っていくのを見て、「何故?」と聞いた所「東独では小声でしか吠えられないから」と答えたというのがあります。
- ところで、壁が崩壊してから東では「あの頃は良かった」との声も聞かれます。その理由は、
- ① 人々の連帯感が強かった。
  - ② 働く女性のために、託児所が多く幼稚園も無料だった。
  - ③ 完全雇用が徹底していて、体制から追放されても墓堀り、下水道掃除などの仕事が与えられていた。
  - ④ 必需食料品は安く娯楽は少なかったが、オペラの切符、書籍も安く入手できた。
- 労働者は優遇され、保養施設も多く、親が労働者階級であると大学へは優先的に入学させて貰えた。
- などです。

～今後の主な催物案内～

**\* 第一次大戦における病没ドイツ兵慰霊祭**  
当協会のメイン行事です。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：11月19日(日)11:00～12:00  
場所：習志野霊園(JR総武線津田沼駅北口よりバス15分、「自衛隊前」下車。正門に向い左手50mの角を右折、徒歩7分右側)  
直会：慰霊祭の後、直会を行います。  
会費は2,000円です。

**\* 写真展「ドイツと千葉県」閉会式とクリスマスパーティー**

日時：12月17日(日)15:00～17:00  
場所：ドイツ大使館(地下鉄日比谷線広尾駅下車、有栖川公園沿い坂道を100m登る。)  
式次第：大使挨拶、千葉県知事挨拶、平尾会長挨拶、チター演奏、フラウエン・コア・アム・ラインの合唱、立食パーティー  
会費：無料。但し、参加希望者は、事務局宛て11月13日迄にFAXにて申し込み。同伴1名可。

お詫びと訂正

前号1ページ、『バルトの楽園』よもやま話の参加者数は本文中の134名が正しい数字でした。

祝 辞

千葉県日独協会が設立10周年を迎え、本日記念式典が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。千葉県日独協会設立の発端は、第一次世界大戦時に習志野俘虜収容所でスペイン風邪により病没されたドイツ軍人の慰霊にあると伺っております。

以来、毎年ドイツ国民哀悼の日に合わせて、船橋市習志野霊園に日独関係者が参列し慰霊祭を行われるほか、昨年10月には千葉大学と共同で「ドイツと親しむ三日間」を開催されるなど、様々な活動を通して、日本とドイツの友好・親善を深めるために大きな貢献をされてきたことに深く敬意を表します。また、2005年から本格的に始まった本県とデュッセルドルフ市の交流につきましても、皆様に大きなお力添えをいただいております、心から感謝いたします。本年5月のデュッセルドルフ市訪問の際には、私も現地で皆様と御一緒に楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。この11月にはドイツ大使館と共同で「千葉県とドイツ」と題した写真展を開催されると伺っております。多くの日本人、ドイツ人がこの写真展を御覧になり、千葉県とドイツの素晴らしい関係をご理解いただけるものと期待しております。

結びに、千葉県日独協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

2006年10月14日

千葉県知事 堂本 暁子



大嶋(左)、加藤両会員

二列目中央シュミット参事官、右に会長、臼井名誉会員、岡部第一空挺団長、左に木村大使、濱本県庁代表、参事官の後は、アウトバート・トリア独日協会会長)

さて、当時の東独には秘密警察があり、西側自国民へのスパイ行為を奨励していました。現在でも十万人の人達が調査した資料が残っており長さにして百五十キロメートルに及ぶと言われます。自分に関する部分は見ることができませんが、見た結果、離婚、親友との絶交、村八分になることもあるといわれています。又、人身売買も行われていました。これは西独政府が東独から脱出した人達を一人四万〜十万マルクで引き取っていたもので約三万人いたといわれます。その他、東独では人口が少ない割りにオリンピックで活躍する選手が多かったのですが、これは政府がスポーツに秀でた子供達を集めて徹底的に訓練し、金メダルをとると家やテレビを与えるなど、特別待遇をしていたからです。ところで、八七年にマイケル・ジャクソンが来て壁近くで演奏会を行った時、東側の若者達が壁に集まった。警察に解散させられたが、その時「ゴルーベ！俺達を助けてくれ」のコールが起きた。また、建国四十周年のパレードに臨んだゴルバチョフは同じコールを聞いて、「東独も終わりだと感じた」と回想録に書いてあります。いずれにしても、東西ドイツは統一されましたが、東側の人達の中には西側に征服されたとの印象を強く持っていたり、自由競争により、昔は保証されていた生活が奪われたことに不満を持っている人達も存在する事は事実です。